

ルワンダ月報（2023年6月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 1日、欧州委員会は、5月初旬のルワンダでの洪水と地滑りの被害支援に、緊急人道資金として20万ユーロを提供。
- 2日、英国の大手再生可能エネルギー開発企業であるARCパワーは、ルワンダ政府との戦略的電力パートナーシップに署名したと発表。ルワンダ全土で電力網拡張とソーラー発電ユニットの配備を行い、初回4万世帯以上に電力を供給する。
- 2日、緊急事態大臣と保健省大臣、地方自治大臣は、最近の災害後の復旧活動について報告し、インフラの復旧には少なくとも3,000億ルワンダが必要であると述べた。（The New Times）
- 2日、ムサフィリ農業・動物資源大臣は、ザンビアで開催されているアフリカ農業政策リーダーシップ対話（AAPLD）に出席の傍ら、ザンビアのムトロ農業大臣と二者会談を行い、農業研究や貿易を含む農業に関する両国間のMoUについて協議。
- 3日、ンギレンテ首相は、アンゴラにて開催の大湖地域国際会議（ICGLR）の第10回臨時サミットに出席。
- 5日、マラウイに潜伏していると思われる1994年のルワンダ大虐殺に関連して指名手配されている55人の逃亡者の逮捕を支援するようルワンダ政府が要請したと、マラウイ政府が発表。（AFP）
- 6日、ビルタ外務大臣は、第22回東南部アフリカ市場共同体（COMESA）サミットに先立つ第18回COMESA外務大臣会合に参加。
- 6日、ルワンダ原子力委員会（RAEB）は、現在、原子力科学技術センターの設立を進めていると発表。（The New Times）
- 7日、ハーグの国連国際刑事法廷は、ルワンダの虐殺に関与したカブガ氏の健康状態を鑑み、裁判を中断。
- 7日、カガメ大統領は、キガリで開催されるアフリカ連合常設代表委員会のリトリートを前に、アフリカ連合委員会（AUC）のファキ委員長などとAUの制度改革の進捗状況について協議。
- 7日、ルワンダ宇宙機構（RSA）はThe Research Institute for Innovation and Sustainability（RIIS）と、宇宙イノベーションエコシステム構築のためのワークショップを開催。Research Innovations Systems Africa（RISA）

プログラムの下で英国外務英連邦開発庁（UKFCDO）から資金援助を受けている。

- 8日、キガリで開催されたアフリカ連合（AU）会議で、AUが「2063年における自分たちが望むアフリカ」を実現できるよう、制度改革や進行中の取り組みについて議論。（The New Times）
- 8日、カガメ大統領は、中央アフリカ共和国のトゥアデラ大統領と会談。安全保障における協力など、現在進行中の二国間協力について協議。
- 9日、カガメ大統領は、フォルクスワーゲン社（VW）とルワンダのパートナーシップの5周年記念のためVWグループ幹部と会談。最近MOUが締結されたVWの電気トラクターを提供するGen Farmプロジェクトなどについて協議。
- 10日、王駐ルワンダ中国大使は、ンサビマナ・インフラ大臣を表敬訪問し、6月29日から中国湖南省長沙市で開催される予定の第三回中国アフリカ経済貿易博覧会（CAETE）に出席予定のンサビマナ大臣の中国訪問を歓迎。
- 11日、ジェノサイド関連で国際逮捕状の対象者であったニヨンギラ氏がマラウイ共和国から、ルワンダに引き渡された。
- 12日、リビアから134人の難民・庇護希望者の第14陣がルワンダに到着。ルワンダ政府、UNHCR、アフリカ連合は、ルワンダへの一時的な避難を通じて、リビアでの脆弱な難民や庇護希望者を保護・支援するためのトランジットメカニズム（ETM）を設立。
- 14日、保健省とアフリカ連合は、アフリカ医薬品庁（AMA）のホスト協定を締結。AMAはアフリカ大陸での安全かつ有効な医薬品へのアクセス改善を目的としたAUによる規制機関であり、ルワンダに本部を置くこととなる。
- 15日、在中国ルワンダ大使は、杭州師範大学アリババビジネススクールのルワンダ人学生22名の卒業式に出席。学生たちは、電子商取引を専門とする国際ビジネスの学部課程を修了。
- 16日、カガメ大統領は世界銀行のクワクワ東部・南部アフリカ担当副総裁を迎え、ルワンダ国全体の電化の進捗及び、世界銀行が優先する民間セクターへの投資と貧困削減について議論。
- 16日、ルワンダは、ウクライナ戦争により悪化したCOVID-19の影響に対応するため、自動車、靴、食料品など、複数商品の輸入税を見直し。（KT Press）
- 20日、ザンビアのヒチレマ大統領は、カガメ大統領の招待を受け、金融機関のデジタル化フォーラム出席のためルワンダ訪問。
- 21日、マリサムンダ新国防大臣は、福島駐ルワンダ日本大使を迎え、安全保障問題、特に平和維持活動における協力について協議。
- 21日、マリサムンダ新国防大臣は、王駐ルワンダ中国大使を迎え、既存の

二国間防衛協力の強化について協議。

- 21日、パリ控訴院は、1994年のツチ族に対するジェノサイドにおけるビセセロの虐殺にフランス軍が加担した疑いがあるとして調査を勧告。
- 21日、フランスは、ルワンダによるコンゴ（民）東部の反政府勢力 M23 反乱軍への「継続的な軍事支援」を非難。(Africa News)
- 21日、米国と EU は、国連の報告書が鉱物資源に恵まれた隣国へのルワンダの武装勢力による「直接介入の証拠」を挙げたことを受け、コンゴ（民）での反政府勢力への支援を停止するようルワンダに求めた。(Financial Times)
- 21日、カガメ大統領は、ザンビアのヒチレマ大統領を迎え、貿易、ツチに対するジェノサイドの逃亡者の引き渡し、ザンビア政府がルワンダに割り当てた土地でのザンビアでの農業生産などについて協議。
- 22日、パリにて、ルワンダとフランスは、租税条約に署名。
- 22日、ルワンダ政府と英国政府は、貿易産業省を通じて、途上国貿易スキーム (DCTS) を開始。
- 22日、国際通貨基金 (IMF) の強靱性と持続可能性トラストを基盤に、ルワンダ政府は、フランス開発庁 (AFD)、欧州投資銀行 (EIB)、カッサ・デポジティ・エ・プレスティティ (CDP)、国際金融公社 (IFC) と協力し、官民パートナーシップを促進し、気候変動資金を拡大し、民間の気候変動投資を呼び込むための協力的なアプローチを発表。
- 22日、ルワンダとコモロ連合は、三角協力、グッドガバナンス、社会保護プログラム、環境保護、デジタルソリューションの分野での協力強化のための覚書に署名。
- 23日、ルワンダ開発委員会 (RDB)、インフラ省、キガリ市とのパートナーシップの下、ルワンダ政府はビボエナジー社およびルワンダ社会保障委員会 (RSSB) とキガリ市内に 200 台以上の電気バス供給に関する協定に署名。
- 26日、世界食糧計画 (WFP) は、ルワンダ教育省 (MINEDUC) と共同で、キガリで東部アフリカ地域学校給食連合ネットワークを設立。WFP は本設立に重要な役割を果たしたルワンダを賞賛。
- 28日、ンギレンテ首相は、韓国大統領の特使であるソンミン氏を迎えた。
- 28日、カガメ大統領のセーシェル訪問初日に、両国間にて5つの覚書と協定に署名。
- 28日、陳駐タンザニア中国大使は、東アフリカ共同体 (EAC) との能力開発、貿易、インフラ整備などの分野での協力強化を約束し、タンザニアにある EAC 本部に約 40 万米ドルになる複数車両を寄贈。
- 27日、パリの裁判所はルワンダの元軍人警察官ハテゲキマナ氏に対し、

1994 年の大量虐殺と人道に対する罪で有罪判決を下し、終身刑を言い渡した。(AFP)

- 29 日、英国スナク首相は、英国最高裁判所の「ルワンダは難民にとり安全な目的地でない」とする判決に対し、上訴予定。(The New Times)

2. 開発協力

- 2 日、欧州委員会は、5 月初旬に発生した洪水と地滑りの被害者への支援目的で、緊急人道支援として 20 万ユーロを提供。この資金はルワンダ赤十字社 (RRCS) が、水衛生、保健、生活、シェルター支援など実施する。
- 27 日、キガリで開催された EU-ビジネスフォーラムで、RMB (ルワンダ鉱山石油ガス委員会) と GIZ (国際協力ドイツ) は、欧州連合 (EU) 駐ルワンダ代表部とドイツ連邦経済協力開発省 (BMZ) の共同出資による「ルワンダにおける鉱業セクターの持続可能な開発」と題するプロジェクトを開始。

3. 経済

- 1 日、世界銀行は、国際開発協会 (IDA) による追加融資 1 億米ドルを承認。
- 15 日、Equity Group Holdings は、ルワンダの Compagnie Générale de Banque の買収意向を発表。
- 16 日、ンダギジマナ財務・経済計画大臣は、2023/24 年度国家予算を国会に提出。新会計年度の予算案 5 兆 301 億フランは、経常支出が 57.7%、開発支出が 42.3%であり、景気回復を促進し、気候変動の緩和を支援するとともに、国家戦略 (NST1) における教育、医療、ICT、農業、インフラ事業の実施に当てられる。
- 19 日、ルワンダ国立統計局の発表によると、ルワンダ経済は、2023 年第一四半期に 9.2%の成長を記録。成長率は、サービス業が 44%、農業が 27%、工業が 22%を占めている。
- 27 日、ルワンダ航空はフランスの首都パリへの就航を週 3 便開始。
- 27 日、キガリで開催された EU-ビジネスフォーラムで、RMB (ルワンダ鉱山石油ガス委員会) と GIZ (国際協力ドイツ) は、欧州連合 (EU) 駐ルワンダ代表部とドイツ連邦経済協力開発省 (BMZ) の共同出資による「ルワンダにおける鉱業セクターの持続可能な開発」プロジェクトを開始。プロジェクトは、2025 年まで 415 万ユーロの予算である。
- 29 日、欧州連合 (EU) のビジネスリーダー 100 名以上が、ルワンダの民間セクターと関わり、ルワンダでの貿易と投資の機会を探るため、初の EU-ルワンダビジネスフォーラムに参加。

以上